

報告事項イ

件名	令和2年度体罰等の実態把握の結果について
提出理由	令和2年度中の体罰等発生状況（体罰等の有無、態様等）について、別紙のとおり報告します。
概要	<ol style="list-style-type: none">1 調査の趣旨 児童生徒に対する体罰等の実態を把握し、体罰等禁止の徹底を図り、信頼関係に立つ教育の推進に資する。2 調査内容 令和2年度中の体罰等発生状況（体罰等の有無、態様等）3 調査対象期間 令和2年4月1日～令和3年3月31日4 調査対象 県内全公立学校（さいたま市立学校を除く。） (市町村立) 小学校702校 中学校354校 義務教育学校1校 高等学校2校 特別支援学校2校 (県立学校) 中学校1校 高等学校139校 特別支援学校36校5 調査方法 各校で児童生徒、保護者、教職員へのアンケート等を実施6 調査結果の概要<ol style="list-style-type: none">(1) 発生件数 計10件 小学校1件、中学校2件、高等学校6件、特別支援学校1件(2) 主な場面 授業中5件、休み時間3件、部活動1件、ホームルーム1件(3) 主な態様 素手でたたく6件、道具を用いてたたく1件、蹴る1件、暴言・威嚇1件、正座をさせる1件(4) 主な被害 外傷1件、打撲3件、精神的苦痛4件、負傷なし2件7 県教育委員会等の対応 戒告1件、訓告等4件

(県立学校人事課)

令和2年度体罰等の実態把握の結果

令和3年7月9日
 埼玉県教育局 小中学校人事課
 県立学校人事課

表1 令和2年度に発生した体罰等

概要	小	中	高	特	計
発生件数	1 (0)	2 (10)	6 (22)	1 (3)	10 (35)
発生学校数	1 (0)	2 (8)	5 (17)	1 (3)	9 (28)
体罰等を行った職員数	1 (0)	2 (8)	5 (20)	1 (3)	9 (31)
被害児童生徒数	1 (0)	2 (34)	16 (45)	1 (3)	20 (82)

()内は令和元年度

市町村立小学校 702 校
 市町村立中学校 354 校
 市町村立義務教育学校 1 校
 市立高等学校 2 校
 市立特別支援学校 2 校
 県立中学校 1 校
 県立高等学校 139 校
 県立特別支援学校 36 校

表2

主な場面	小	中	高	特	計
授業中		1	3	1	5
放課後					0
休み時間	1	1	1		3
給食時					0
清掃時					0
部活動			1		1
ホームルーム			1		1
学校行事					0
その他					0
計	1	2	6	1	10

表3

主な場所	小	中	高	特	計
教室		1	1		2
特別教室	1	1			2
職員室					0
運動場・体育館			1		1
生徒指導室・相談室					0
廊下・階段			1	1	2
実習室			3		3
計	1	2	6	1	10

表4

主な態様	小	中	高	特	計
素手でたたく	1	1	3	1	6
棒などの道具を用いてたたく			1		1
蹴る			1		1
投げる・転倒させる					0
胸ぐらをつかむ					0
身体を強く押す					0
ものを投げつける					0
暴言・威嚇		1			1
正座をさせる			1		1
計	1	2	6	1	10

表5

主な被害	小	中	高	特	計
死亡					0
骨折					0
捻挫					0
鼓膜損傷					0
外傷			1		1
打撲		1	1	1	3
鼻血					0
髪を切られる					0
精神的苦痛			4		4
負傷なし	1	1			2
計	1	2	6	1	10

表6

把握のきっかけ(複数可)	小	中	高	特	計
児童生徒の訴え	1		5	1	7
保護者の訴え	1	2	3		6
教員の申告			2	1	3
第三者の通報					0
その他					0

表7

把握の手法(複数可)	小	中	高	特	計
当事者教員	1	2	5	1	9
その他教員		2	4	1	7
被害児童生徒	1	2	6	1	10
その他児童生徒		1	3		4
保護者		2	4		6
その他(第三者)					0

県教育委員会等の対応

表8

処分(当事者)	小	中	高	特	計
免職					0
停職					0
減給					0
戒告		1			1
訓告等	1	1	2		4
計	1	2	2		5

表9

処分(監督者)	小	中	高	特	計
免職					0
停職					0
減給					0
戒告					0
訓告等		1			1
計		1			1